

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
地域づくり実践	生活学科教員	演習	2		3	4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	生活福祉・心理コースと居住環境コース共通の教育プログラム「PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）科目」とし、プロジェクト型の地域問題解決型授業とする。 津市内商店街などの活性化や地域再生など、具体的な津市内の課題地区を対象とし、両コースの学生を混成した受講生4名程度を1グループとして、問題解決型のグループ演習をワークショップ形成で行うことを目的とする。						
到達目標	このプロジェクト型授業を通して、両コースの座学である各講義の体系的な繋がりや学びの必要性を知ることと、教養だけでなく実践的に地域の活性化や課題等に取り組むことができるようになることを目標とする。						
回	学習内容						
1	課題説明：スケジュール、グループ決め						
2	対象地区の情報収集（位置づけ、社会的課題など）						
3	対象地区現地調査（地区の特徴(良い所悪い所等)）						
4	対象地区現地調査（対象者のヒヤリングなど）						
5	現地調査のまとめ（グループごと）						
6	取りまとめプレゼンテーション、パワポ等作成						
7	対象地区現地調査のまとめ提出（A2判2～3枚）						
8	現地調査のまとめ発表【現地調査発表及び講評】						
9	課題を解決する方法の検討						
10	テーマ、コンセプトの検討（6W2H検討）						
11	提案イメージの検討、利用方法、空間イメージ						
12	テーマ、コンセプト、提案イメージのまとめ						
13	利用方法(生活福祉・心理コース)、空間イメージ(居住環境コース)等の作成						
14	とりまとめプレゼンテーション、パワポ作成等						
15	企画提案書提出（A2判4～5枚）、 企画提案書発表【企画提案書発表及び講評】						
予習内容 復習内容	予習：資料に目を通して内容を理解し、当日行われる内容の事前準備を行う。 復習：作成資料を復習するとともに、演習中に行った内容を振り返り学習する。						
教科書	随時、資料などを配布予定。						
成績評価	現地調査のまとめ(40%)、企画提案書(60%)をあわせて評価。						
実務経験	社会福祉法人や障害者支援施設、建築設計事務所、都市計画事務所などに勤務経験がある教員数名。 実務経験をもとに地域問題解決の具体的な事例や方法などについて話をします。						
その他 特記事項	生活福祉・心理コースは、地域福祉論Ⅰ・Ⅱを履修していることが望ましい。 居住環境コース学生は、まちづくり企画・住生活設計Ⅱを履修することが望ましい。						